



知事 コラム

新幹線

今月26日には北海道新幹線が開業します。昨年の北陸新幹線に続いて2年連続の話題です。

実は、昨年の10月17日、札幌市で開催された「北海道新幹線知事フォーラム」に出席しました。ご当地の北海道、沿線の岩手県、宮城県、栃木県の各知事、そして私の5知事が出席しました。北海道新幹線の開業で何が変わるのが、地域活性化のために何を生かすのかということがテーマでした。

私は新幹線と飛行機の競合についてのお話をしました。大宮駅から羽田空港までの所要時間は約70分です。新幹線ならば大宮駅から仙台駅まで行ける時間です。また、空港には余裕を見て30分前には到着する必要があります。加えて、慢性的な混雑で出発が遅れることもしばしばです。このため出発までにさらに10分くらいかかることがあります。新幹線で仙台駅から40分も進めば

盛岡駅を過ぎてしまいます。つまり、大宮駅を起点にすると、飛行機で羽田空港を出発する頃には新幹線は既に盛岡駅の先まで進んでおり、津軽海峡を超えるのは場合によっては新幹線の方が早いということになります。

新幹線で大宮駅から新たに誕生する新函館北斗駅までは3時間38分。飛行機で函館空港まで行くとすれば少なく見て3時間10分ですが、定時性のことを考えれば、時間がより確実な新幹線は十分に対抗できます。ちなみに、旅客が鉄道と飛行機のどちらを選択するかは、4時間が基準になっているそうです。

新幹線を使えば北海道も石川県も驚くほど近くになります。このロケーションの良さがますます本県の強みになっています。

統計上もそれが表れています。過去約10年間

の企業本社の転入超過数は本県が全国一位です。今後はこの交通利便性をどのように生かすのかという戦略が県政にも企業にも必要だと思います。

例えば、観光ならば交通の要衝である大宮駅を起点とした集客のアプローチが必要です。

新幹線をどう生かすかは地域の戦略にかかっています。新幹線が開通したから必ず発展するという思い込みがあるとすれば、「地方創生」からは程遠いと思います。

埼玉県知事 上田清司

